正　誤

埼玉県告示第千百五十八号（平成二十七年十月十六日第二千七百四十号）中訂正

七ページ別表三―五

別表３―５　環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表（工場・廃棄物処理施設・下水道終末処理場）

事業の種類				工場・廃棄物処理施設・下水道終末処理場											
影響要因の区分				工事			存在・供用								
環境影響要因の例 ＼ 調査・予測・評価の項目				建設機械の稼働	資材運搬等の車両の走行	造成等の工事（工場（施行面積20ha以上）及び最終処分場）	造成地・施設の存在		施設の稼働						自動車等の走行
							工場（施行面積20ha以上）及び最終処分場	その他	工場	ごみ処理施設	し尿処理施設	廃棄廃棄物中間処理施設	下水道終末処理場	廃棄物最終処分場	
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気質	二酸化窒素又は窒素酸化物		○	○				○	○		○			○
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物							○	○		○			
		浮遊粒子状物質							○	○		○			○
		炭化水素							○						○
		粉じん		○	○	○								○	○
		大気質に係る有害物質等							○	○		○			
	騒音・低周波音	騒音		○	○				○	○	○	○	○	○	○
		低周波音							○	○	○	○	○	○	
	振動	振動		○	○				○	○	○	○	○	○	○
	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度							○	○	○	○	○	○	
		特定悪臭物質							○	○	○	○	○	○	
	水質	公共用水域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量						○	△＊６	○	△＊６	○	○	
			浮遊物質量			○				△＊６	○	△＊６	○	○	
			窒素及び燐						○	△＊６	○	△＊６	○	○	
			水温												
			水素イオン濃度			△＊３				△＊６	○	△＊６	○	○	
			溶存酸素量							△＊６	○	△＊６	○	○	
			その他の生活環境項目							△＊６	○	△＊６	○	○	
			健康項目等						○	△＊６	○	△＊６	○	○	
		底質	強熱減量												
			過マンガン酸カリウムによる酸素消費量												
			底質に係る有害物質等						○	○		○		○	
		地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目						○			○		○	
	水象	河川等の流量、流速及び水位					○						○		
		地下水の水位及び水脈				○								○	
		温泉及び鉱泉													
		堤防、水門、ダム等の施設											○		
	土壌	土壌に係る有害項目							○	○		○		○	
	地盤	地盤沈下													
	地象	土地の安定性				○	○								
		地形及び地質（重要な地形及び地質を含む。）				○	○	△＊２						○	
		表土の状況及び生産性					○								
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	動物	保全すべき種		○			○	△＊２						○	
	植物	保全すべき種				○	○	△＊２						○	
		植生及び保全すべき群落				○	○	△＊２						○	
		緑の量					△＊１	△＊１							
	生態系	地域を特徴づける生態系		○			○	△＊２						○	
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源）					○	△＊２						○	
		眺望景観					○	○						○	
	自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場		○			○	△＊２	△＊２	△＊２	△＊２	△＊２	△＊２	△＊２	
	史跡・文化財	指定文化財等					○	△＊２							
		埋蔵文化財					○	△＊２							
	日照阻害	日影の状況					○	○							
	電波障害	電波受信状況					○	○							
	風害	局所的な風の発生状況													
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物				○			○	○	○	○	○		
		残土				○									
		雨水及び処理水							○						
	温室効果ガス等	温室効果ガス		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
		オゾン層破壊物質							△＊４	△＊５		△＊５			
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき項目	放射線の量	放射線の量		△＊７	△＊７	△＊７								△＊７	

○：標準的に選定する項目　△：事業特性、地域特性により選定する項目

＊１：都市的地域の場合

＊２：立地条件による

＊３：沢部の廃棄物最終処分場の場合

＊４：業種による

＊５：フロン等を含む廃棄物を処理する場合

＊６：公共用水域に排水する場合

＊７：放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合

正

別表３―５　環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表（工場・廃棄物処理施設・下水道終末処理場）

事業の種類				工場・廃棄物処理施設・下水道終末処理場											
影響要因の区分				工事			存在・供用								
環境影響要因の例 ／ 調査・予測・評価の項目				建設機械の稼働	資材運搬等の車両の走行	造成等の工事（工場（施行面積20ha以上）及び最終処分場）	造成地・施設の存在		施設の稼働						自動車等の走行
							工場（施行面積20ha以上）及び最終処分場	その他	工場	ごみ処理施設	し尿処理施設	産業廃棄物中間処理施設	下水道終末処理場	廃棄物最終処分場	
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気質	二酸化窒素又は窒素酸化物		○	○				○	○		○			○
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物							○	○		○			
		浮遊粒子状物質							○	○		○			○
		炭化水素							○						○
		粉じん		○	○	○								○	○
		大気質に係る有害物質等							○	○		○			
	騒音・低周波音	騒音		○	○				○	○	○	○	○	○	○
		低周波音							○	○	○	○	○	○	
	振動	振動		○	○				○	○	○	○	○	○	○
	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度							○	○	○	○	○	○	
		特定悪臭物質							○	○	○	○	○	○	
	水質	公共用水域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量						○	△＊6	○	△＊6	○	○	
			浮遊物質量			○				△＊6	○	△＊6	○	○	
			窒素及び燐						○	△＊6	○	△＊6	○	○	
			水温												
			水素イオン濃度			△＊3				△＊6	○	△＊6	○	○	
			溶存酸素量							△＊6	○	△＊6	○	○	
			その他の生活環境項目							△＊6	○	△＊6	○	○	
			健康項目等						○	△＊6	○	△＊6	○	○	
		底質	強熱減量												
			過マンガン酸カリウムによる酸素消費量												
			底質に係る有害物質等						○	○		○		○	
		地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目						○			○		○	
	水象	河川等の流量、流速及び水位					○						○		
		地下水の水位及び水脈				○								○	
		温泉及び鉱泉													
		堤防、水門、ダム等の施設											○		
	土壌	土壌に係る有害項目							○	○		○		○	
	地盤	地盤沈下													
	地象	土地の安定性				○	○								
		地形及び地質（重要な地形及び地質を含む。）				○	○	△＊2						○	
		表土の状況及び生産性					○								
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	動物	保全すべき種		○			○	△＊2						○	
	植物	保全すべき種				○	○	△＊2						○	
		植生及び保全すべき群落				○	○	△＊2						○	
		緑の量					△＊1	△＊1							
	生態系	地域を特徴づける生態系		○			○	△＊2						○	
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源）					○	△＊2						○	
		眺望景観					○	○						○	
	自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場		○			○	△＊2	△＊2	△＊2	△＊2	△＊2	△＊2	△＊2	
	史跡・文化財	指定文化財等					○	△＊2							
		埋蔵文化財					○	△＊2							
	日照阻害	日影の状況					○	○							
	電波障害	電波受信状況					○	○							
	風害	局所的な風の発生状況													
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物				○			○	○	○	○	○		
		残土				○									
		雨水及び処理水							○						
	温室効果ガス等	温室効果ガス		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
		オゾン層破壊物質							△＊4	△＊5		△＊5			
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき項目	放射線の量	放射線の量		△＊7	△＊7	△＊7								△＊7	

○：標準的に選定する項目　△：事業特性、地域特性により選定する項目

＊1：都市的地域の場合

＊2：立地条件による

＊3：沢部の廃棄物最終処分場の場合

＊4：業種による

＊5：フロン等を含む廃棄物を処理する場合

＊6：公共用水域に排水する場合

＊7：放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合